

地域情報活性化プロジェクトの現状と その評価に関する調査研究

Evaluation of current activities by NPO and volunteer

キーワード

地域情報活性化、成長のステップ、成功要因、NPO、評価

1. 調査の目的

本調査研究の最終目的は、今後地域情報活性化活動の「成功」に貢献していくにはどのような方法があり、どのような支援が効果的なのかを探ることにあった。この目的を満たすために、地域情報活性化活動が比較的成功していると思われる事例を調査してその成功要因を見いだし、その中で外部から支援しうることは何かを明らかにしようとした。

成功要因を検討するにあたり、自治体主導でない地域住民による自発的な活動の中に成功例が多いのではないかという仮説のもとで、各地のNPOやボランティアグループを本調査の対象とした。

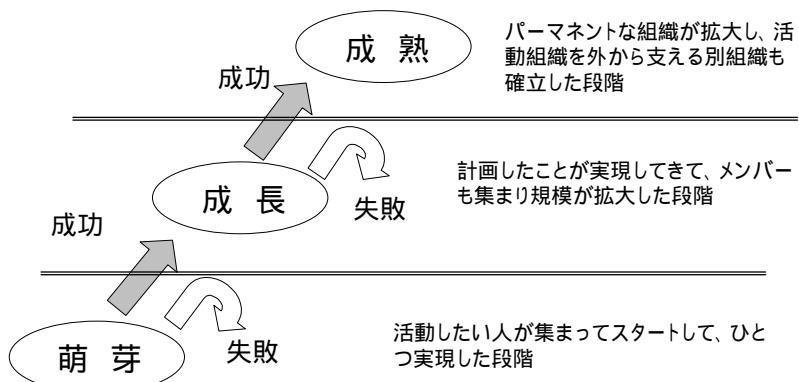
2. 調査研究成果概要

調査の視点:「成功」の捉え方

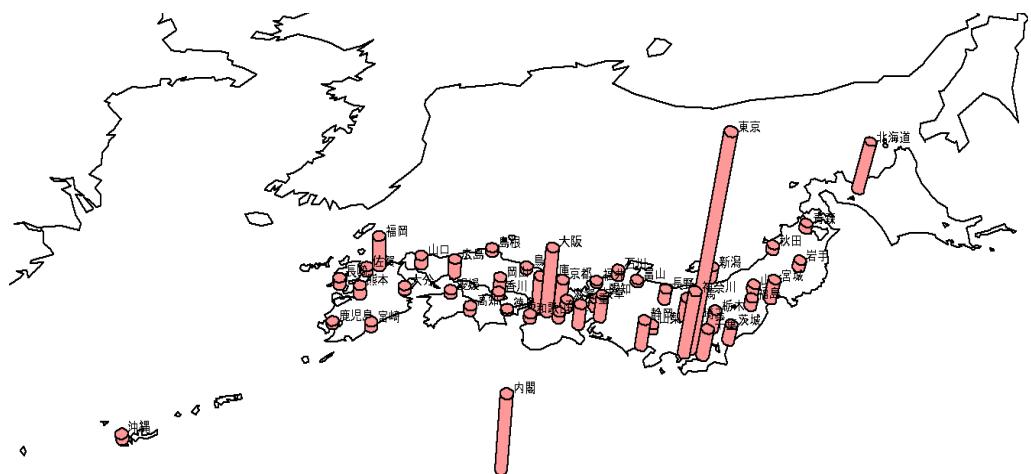
「成功」はひとつの状態を示すものではない。地域情報活性化関連プロジェクトが成長し、成長ゆえの困難や課題への対応に成功した場合に、ひとつ上の段階(規模)へと移ることができる。しかし、さらに上の段階へ移る際に失敗することはある。それぞれの地域情報活性化活動も、その成長段階によって質的に異なるものである。

したがって、成長の各段階にある地域情報活性化活動は、その段階に至るまでに成功してきた要因によって成立していると捉えることができる。

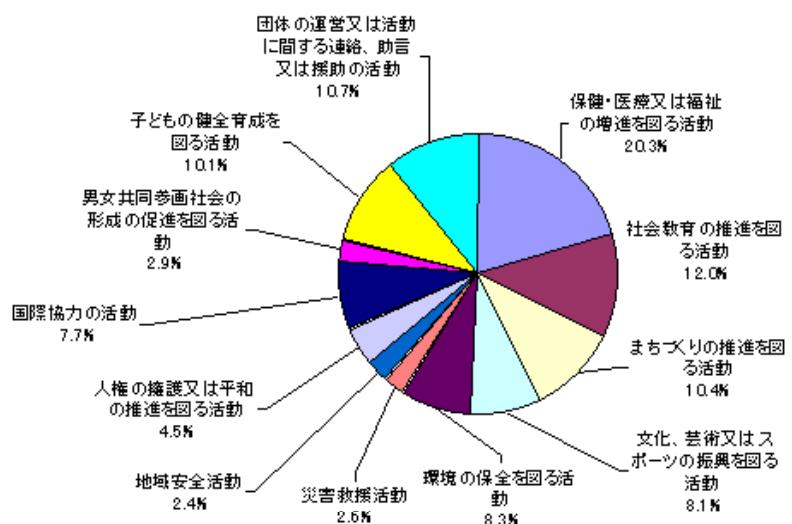
成長のステップ



NPO認証数の分布



NPOの活動分野比率



成功要因の検討

地域情報活性化活動は 「人」と「活動資金」がポイント

人 … 賛同者を得て、技術面・資金面の支援を取りつける
組織としての形が形成される
片手間ではできない 専属の組織へ

リーダー : 参加者をリードするキーパーソン
情報技術を身につけていないケースもあり
コアメンバー : 活動内容に賛同して他のメンバーをまとめる役割
システム技術者 : ネットワーク運営、システム管理、ソフト開発
参加者 : 活動主体

地域情報活性化活動の捉え方

目的をどういう形で実現したか
何を、どうやって進めてきたか

+

成熟をどうみるか

<自治体型>

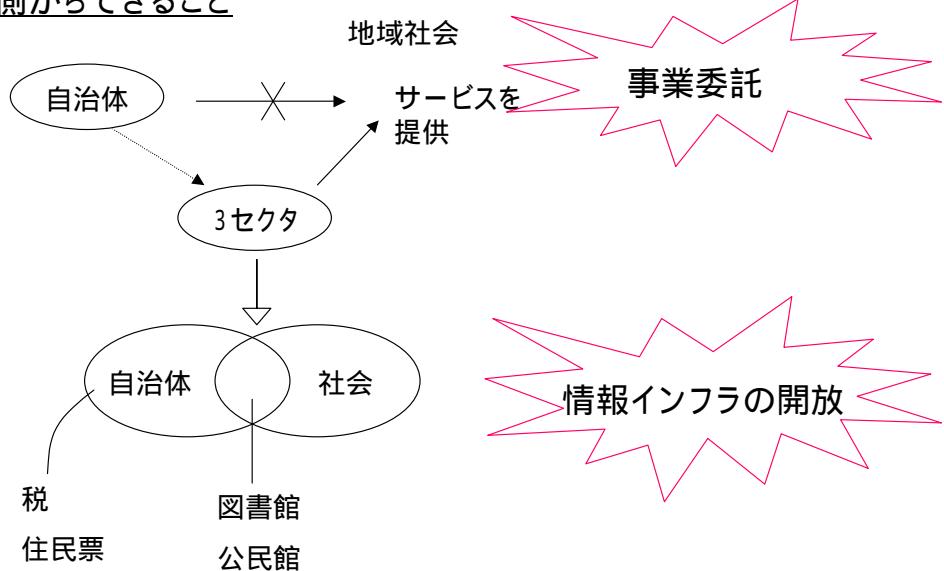
組織は最初からある
既存のものの高度化
予算化できればやれる
インフラ整備型

< N P O 型 >

(多くは)今までにない集まりを作る
今までにないものを作る
やりたいことに応じて活動資金確保に工夫
サービス型 ベンチャー型

地域情報活性化活動の「成功」に貢献するには

自治体側からできること



地域情報活性化活動の「成功」に貢献するには

その他支援策

オーソライズ

「賞」で活動を讃える 社会的信用を高める支援
活動の良さを自分のチャネルを通じて他にアピール

技術支援

技術サポート、ホットライン、講習会、人材育成
中古パソコン提供、トラブル支援、ソフト提供

活動メンバーの教育

情報化に対応できる人材育成

情報提供・コンサルティング

活動リーダーに対する外からのサポート